



HPはこちら

# 東日本ユニオン NEWS

J R東日本労働組合  
発責 組織情宣部  
2024年5月30日 No.773

## 2024年度夏季手当 本当に必要なのは時期ではなく「必要な額」

早い時期の夏季手当議論に「経営視点」はない！  
経営側は「社員の視点」を述べているが、社員の考えは一切考慮していない！

- ・ 経営に関係する経費、費用が同時議論の理由ではない
- ・ 目的は年収ベースで計画が立てられるように同時に検討して示す
- ・ 期末決算がどのようになるのか一定程度含んで見解を示している
- ・ 早い段階で夏季手当の水準を示すことにより、一定程度年収ベースの見通しが立ち、生活設計が立てられ働きがいの向上につながる
- ・ 「社員・家族の幸福」を実現するために年収ベースで計画を立てられるようにする
- ・ 年収が上がるのであれば、それを見越した生活設計ができる。低いなら理由を示して予めアナウンスすることは生活設計に配慮する
- ・ 経営戦略の中で「社員・家族の幸福」を実現していくことが、会社にとっても社員にとってもメリット。お互いにWinWin

経営側



## 会社の考えと社員の生活実態は大きくかけ離れている！

年収ベースが早目に分かることは本当に

社員と家族の幸福の実現につながるのか？

社員



- ・ 物価上昇に伴い、毎月の生活費をボーナス補填せざるを得ない
- ・ 過去の期末手当の実績を基に、住宅、マイカー、教育などローン返済額を決めており計画通りにいかない
- ・ 子供には奨学金制度で負担させている
- ・ 出産、育児、産後パパ休職など働く環境や働き方が大きく変わり取得しやすい反面、収入に大きな不安

- ・ 「計画的な生活設計を立てること」ができていますか？
- ・ 「働きがいの向上」につながっていますか？
- ・ 「社員と家族の幸福」の実現につながっていますか？
- ・ 「お互いにWinWin」ですか？
- ・ 早い時期は「支給額の抑え込み手法」になっていませんか？

Really?  
?



諦めだけでは何も変わらない！追加支給を勝ち取るため  
「一歩踏み出し」東日本ユニオンと共に声をあげよう！